

ニガウリ「宮崎つやみどり」のアコーディオン誘引栽培方法

半促成栽培では5本仕立てにすると収量が多くなる

背景・目的

- ニガウリのアコーディオン誘引は、採光性が良く省力的な誘引方法として導入されています。
- しかし、適切な栽培方法については確立されていません。
- ニガウリ「宮崎つやみどり」の半促成栽培におけるアコーディオン誘引に適した仕立本数の検討をおこないました。

成果の内容

- 可販果収量は、5本仕立てが最も多くなります(図1)。
- 収穫果率は、5本仕立てが最も高くなります(図2)。

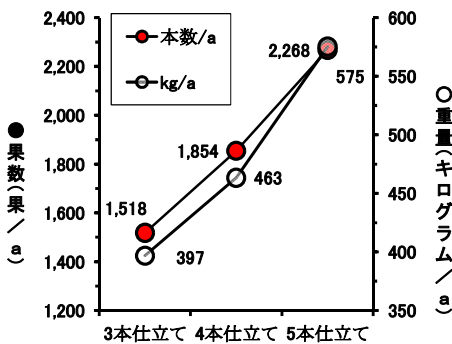


図1 可販果収量
収穫期間：2015年4月6日から6月30日

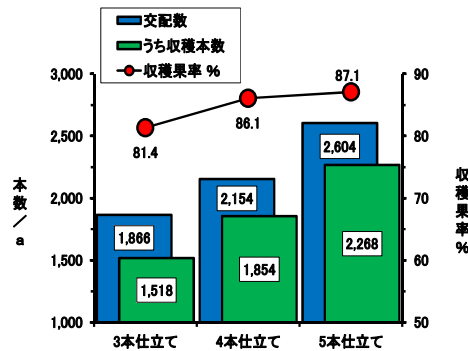


図2 交配数と収穫本数および着果率
収穫期間：2015年4月6日から6月30日



アコーディオン誘引

成果の活用方法(又は期待される効果)

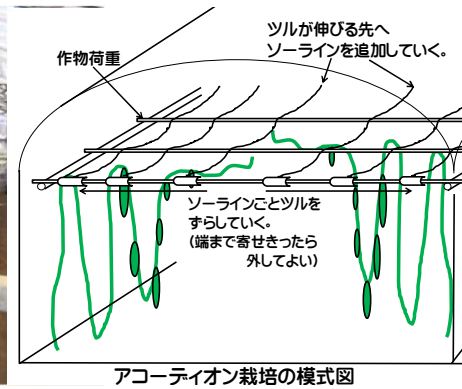
- ニガウリ「宮崎つやみどり」の抑制栽培におけるアコーディオン栽培は採光性が良く、生産能力を引き出すことが出来るため、安定生産と品質向上が期待できます。



摘芯栽培
(日当たりに差がある)



アコーディオン栽培
(一日中、日当たりが良い)



アコーディオン栽培の模式図

- 普及対象地域・面積 この技術は、県内全域のニガウリ産地で活用可能です。

留意点

- 開花数が多く連続着果すると、曲がり果の発生が増えるため、交配節をあける等、注意が必要です。
- 半促成栽培におけるアコーディオン誘引による結果です。